室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置実施計画（案）地域説明会での意見・質問と回答内容

1　日時：令和５年７月１１日（火）　１８：３０

2　場所：吉良川小学校

3　市出席者：百田教育長・山本教育次長兼学校教育課長・村上課長補佐・高崎班長

4　参加者数：１８人

No.	発言内容	回答内容
1	○統合ありきということで、その上で、説得するというやり方。規模は小さくなっても地域に学校を残すことが大事で、少人数でもやっていけるプランを募集しらどうか。市民もいろいろな考えや提案があると思う。	○中学校の統合については、令和２年度に立ち上げた検討委員会の方から将来的には１校の統合を行うべきであるという報告をいただいている。地域に学校を残したいというのは我々も一緒であるが、ここまで生徒が減ってくる中で室戸の中学生に一定の教育環境を作ってやらなければいけないと考えている。 中学校ではある一定規模の生徒数、教職員の配置が必要と考えている。
2	○今まで、岬小学校や椎名小学校とかいろいろなところが統廃合されてきた。統廃合したときに人口、子どもの生徒数も含めて減ったのか増えたのか。人口の変化をまとめてほしい。	○統合の時点で、入学生とか転校生とかにアンケートを取っていない以上、今となっては調べようがないと考えています。
3	○２ページのアンケートだが、５年先にいない保護者にアンケートを取って参考になるのか。	○アンケートは、令和２年の１１月の検討委員会を立ち上げ、その時点の中学校、小学校、保育の保護者の方全員からとっており、今後の学校のあり方を考えるという意味では、対象者になってくる。
4	○学校が１校になったときによう行かん子供が出てきて、移転しようかという可能性もでてくるので、他にも学校があってもいいんじゃないか。	○この実施計画案を考えていく中で、選択肢がなくなるというご意見は、本当に大きな課題と思う。ただ、選択肢を増やすためにだけで、地域に学校を残すことは、一定の望ましい規模を作る考えとは相いれない部分もある。統合中学校になった場合に、どういった対策がとれるか、不登校の問題に関しては、全国的に問題になっており、大きい学校であれ、小規模校であれ出てくる問題である。
5	○前回の地域説明会の時に、各地の意見を回すと言っていたが、未だに回ってこない。各地域でどのような意見が出たのかを知りたいが、それがない状態で、いきなり統廃合の話をされるのも困る。	○去年の夏から約１年間動きがなかったこと、お約束したことができていないのはお詫び申し上げます。今後はお約束したことは必ず守っていく。今日の説明会で我々の考え方を聞いていただいて、さらに協議の場が必要であればお受けいたします。
6	○生徒が校内にいるときに地震が来た場合に帰る手段はどうするのか。	○津波が起きた場合に、国道が遮断されることは否定はできない。その場合は学校が責任をもって生徒の安全確保をする。保護者に引き渡すまでは学校の方で安全確保はする。
7	○発達障害を抱えた子供が、親から離れた状態で何日間もそこにいないという状況で安定しておれるはずがない。どうやって安全を確保するのか。	○南海トラフ地震規模の災害が起きたら、細かいところに手が回らない場合はどうしても出てくる。そこは学校の先生が責任をもって面倒を見る。また、統合中学校は市の避難場所として指定しており、災害対策本部の関わりも出てくるので、学校と市が連携して支援の必要な方に支援をしていく。
8	○地元の人間としたら、地元に学校があったら、橋が崩れても歩いて迎えに行ける。道が寸断されてもどこかに迎えに行ける方法が分かっているので、地元に残してもらいたい気持ちがある。現在、室戸市内で、学校に行けなくなっている子どもは何人いるのか。	○５月で３日以上休んだ生徒は小中学校あわせて３９人となっている。
9	○その中の一部の生徒が教育研究所に通われており、吉良川の中学校に室戸から通っている、羽根に関しても室戸の学校になじめなくて羽根に引っ越して羽根に通っている方もいる。また、室戸岬から佐喜浜中学校に通っていた方もいた。そういう子どもたちがこれから先出てこないとは限らない。室戸中学校に通えると思うか。	○それを今ここで議論しても始まらない。学校に通えなくなった子どもたちに対してどういう体制がとれるか、不登校対策については国もいろいろな形を考えており、統合中学校で取り入れることについては、入れていく必要がある。いろいろなケースをいわれるが、今の時点で１つ１つその場合はこうです、この場合はこうですとは言えないが、そういった状況が起きたときに支援できる体制は普段から作っておかなければならない。
10	○私の息子２人なんですが、学校が１校になった場合、特殊学級に在籍しているが、僕たちは弾かれるってことと聞かれました。	○そうした子どもへの支援として新しい学校にも校内適応教室とか整備はしていく。

No.	発言内容	回答内容
11	○こうした子どもたちが今は選択肢があるが、選択肢がなくなった場合におる場所がなくなるというのが生の声である。	○選択肢がなくなるのはすごく難しい問題だが、まずは、室戸の中学生に望ましい学校規模の教育環境を作るのが我々の責任と思う。そうした学校の中で、支援の必要な子供についてどういった形がとれるのか、例えば、通学時にスクールバスの利用が難しい子どもも出てくると思う。そういった場合に公費でタクシーを使ってもらうとかの対応は取れるのではないか。そうしたことを今から５年かけてあり方検討委員会とか開校準備会の中で皆さんの意見を聞きながら作っていきたい。
12	○うちの子は今不登校になっている。学校に行っているが、教室に入れない。別室登校している。学校に行く時間も日によってばらばらで、バス、タクシーはまず無理である。個人でというのが難しい子どもも多いのも分かってほしい。	○この件については、今日は課題として持ち帰らせていただきたいが、１００何人もいて、１人づつのおこのケースにに対応できる、出来ない部分も出てくる。そこは保護者の方のお力を借りたりとかは必要になってくる。できるだけ取れることについては、可能な限り取り組んでいきたいと思う。
13	○いきなり１０年に統合しますではなくて、整理をしながら考えていただきたい。統合ありきでなくてまず話し合いをして、皆さんの意見を汲んで、すり合わせをして統合ならわかる。統合ありきで話が進んでいるから違う。	○令和２年度から検討委員会を立ち上げ、その中で将来的には統合するという方向性は出ている。それを受けて教育委員会としてどういう形が望ましいかを示してきた。それが去年の基本計画であり、今回の実施計画案である。こうした問題を考えていくうえで、方向性を行政が示して、それに対して皆さんの意見を聞き、その上で決定していく形が必要。
14	○実際自分たちは子供のころから室戸は最終的には室中１つになると話はあった。それが４０年前の話で、なぜそれまでの間に擦り合わせをしてこなかったのか。	○令和２年当時、災害からまず子供の命を守る、児童生徒数の減少というのも顕著になってきた。そうした時に将来的な学校のあり方を考えないといけないということで、検討委員会を立ち上げた。これまでの各学校は、それぞれの状況に応じて、その都度、その都度統廃合を検討し、統廃合を進めてきた。
15	○統廃合ありきと、令和１０年４がつ１にちから統合中学校を開校するとしか書いていない。だから我々は反対する。適正規模の学校学級、今はそういう時代ではない。こういう適正規模の学級なんか作れない状況が出てきている。少人数の教育だって、むしろ少人数の学級だからこそできることがいっぱいある。学校の教師たちは子どもたちの状況を一生懸命にできる、効果が上がる、大人数だったらできないんだ。課長は教育の専門家でもない。教育の専門家をここに呼んで来い。そういう人を呼んできて話をするのはわかるが、お宅らの話を聞いてどうして納得できる。	○私は学校教育課長として、自分の責任として取り組んでいる。皆さんのご意見を聞きたいのは、本当に令和１０年度のような各中学校の生徒数の状況の中でも残すべきというお考えなのか。最終的に統合はダメなのかというお考えか。 ○私は４０年間中学校の現場におり、東日本大震災も覚えている。これからの教育をどうするか、先生方やこどもたちの努力だけでは解決できないこともある。例えば中学校が複式になったら、５人の教員が９教科を担当することになり、４教科が免許外になる。複数の学級になれば各教科に２人の教員が配置される。また、こういった様々な集団の中で認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じていろいろな力をつける、社会性を身につけるこういう大きな学校教育の目標がある。
16	○保育の子どもがいる親ですが、今回の統合実施目的について私は賛成で、統合をしていただきたいと思っている。地震から子どもの命を守るのは緊急度の高い目的だと思う。スピード感をもって早く統合してもらいたい。	
17	○人口が少ない町村でも義務教育は小中学校は１校ずつあるということか。	○義務教育は責務ですから当然学校は設置する。
18	○どうやったら児童数が少なくてもやっていけるか、どうやったら残していけるかを考えてもらいたい。吉良川で保育所を統合したとき条件として道をつけるということであったが、１０年もかかっている。今課長がいろいろ約束されてもなかなか思うようにいかないという可能性もある。中学校は岡村教授が津波が来ると言って、１５年くらいになるが、ずっと放置されている。公園（笠木山公園）の整備も無理といわれている。統合自体悪いとは思わないが、メリット、デメリットそれぞれあるので、もう少し議論をしてもらいたい。	○教育委員会とすれば、現時点ではこの方向性を考えており、この方向性で皆様方のご理解をいただきたいと考えている。議論が足りないというのであればまた地域に出てきて協議はさせていただく。また、吉良川中学校はやはり厳しい状況と思う。学校裏の避難場所についても急傾斜の指定を受けており、早くあそこの場所から変わらなければならないと考えている。

No.	発言内容	回答内容
19	○最後に私個人の意見として、地域として学校は残してほしい。小中一貫校にしてもらえたらと考えています。それは、歴史、文化を継承するためにもそして地域が残っていくためにも絶対必要と思う。それが原因で、子どもたちが不自由な思いをしたりすればそれはそれでまた考えなければいけないが、地域としては残してほしい。	○ご意見としてお受けします。
20	○佐喜浜の子どもさんたちが、学校へ来る場合、今でもそうだが、波が上がったりしているが、そういう状況になった場合、避難路はあるか。吉良川中学校の避難どうも炭焼きをした方とかが伐採した木がそのまま道へ崩れてきたり、足場が悪く急斜面で上まで上がれない。そういう避難路は改善してくれるのか。	○避難路については、一度防災対策課に相談してください。国道は、佐喜浜で言えば夫婦岩のところは、大雨とか台風の時には遮断される。室戸市の国道については、どこの地域でもそういったことはあり得る。そうしたときの通学時の課題はあると思う。国の方にもその都度要望はしているが、すぐにはとはならない。 ○スクールバスの運行については、委託業者に近くの避難場所があるのかとか研修はもちろんですが、天候が事前に予測できるときには、休校や早めに切り上げるなどの対策が現実的。
21	○それは学校に到着しているという前提だが、その途中で津波が来てます、道路が遮断されましたという場合に安全な場所に避難させる場所は確保しているかを聞いている。	○まず運行中に地震が起きた場合にここに逃げましょうという講習は必要である。スクールバス用の特別な避難場所は作っていない。地域の避難場所に逃げていただくという対応になる。
22	○羽根は羽根で中学校が山の上であるから小中一緒にしよう、吉良川も小学校がこんな素晴らしいところにあるから中学校をここにしようというようなやり方で皆の意見をまとめていく方法がとれないか。バスで送ってくれるだろうが、皆貴重な時間を割いて送り迎えもしなければならない場合も出てくる。	○地域に学校を残したいという気持ちは十分わかっている。そうした中で、これだけ生徒数が減ってきている中で室戸市の中学生にとってどういう形が良いかを考えた内容が今回の実施計画案となっている。この案については、皆さま方からいろんなご意見を聞きながら決めていきたいと考えている。
23	○今回の説明会の今後のスケジュールを教えていただきたい。参加している方を見ると、子どもを持っている親御さんが少ないように思えるのが一番の問題。スケジュールの共有は広報以外でもしているのか。	○こうした日にちと場所をこちらから指定した説明会は今回で終わる。ただ、先日の佐喜浜でももっと議論をしたいということで、７月下旬に再度協議することになっている。吉良川地区についてももっと保護者が集まる形で議論したいという要請があれば答えていく。
24	○今後統合に向けた学校づくりについて、構成メンバーの中に保護者がいるんですがどういう形で話し合いをやるのか。	○基本的には統合する中学校区の地域の保護者の方に集まっていただき、その他学校の先生方も入ってくる。具体的なメンバーはまだ作っていないが、１ケ月か２ケ月に1回のペースで1年半くらいかけてやる。
25	○今日は市長が来なかったが、どうして来ないのか。教育環境の整備は教育委員会の職務ではない。	○市長の権限に属する業務については、市長から教育委員会が補助執行を受けているという形で進めている。
26	○吉良川について、中学校が小学校にもし早い段階で統合前でも移ることが可能なのか。	○施設の増築であれば可能だ。現状の施設では、空き教室はあるが、中学校のクラスが3つ、後特別支援学級や校内適応教室、職員室を構えるとなると現状では不足するので、何かしらの施設整備は必要となってくる。 ○中学校の避難、大事なところではあるが、例えば小中一貫校とかの整備方針がない中で、中学校を小学校に移してくることは考えていない。
27	○統合した場合のデメリットを教えていただきたい。	○通学距離が長くなる、それぞれの地域での伝統文化などの学習面が今まで通りいかない場合があること、教員の目が届きにくくなることなどがある。
28	○今室戸小学校と室戸中学校はどういう状況かご存じか。室小中の保護者からは統合せんほうが良いと、何故ならめちゃくちゃだからということ。なぜ、校区外に通う子が多いかそれを理解していない。	○回答なし。

No.	発言内容	回答内容
29	○災害にあった場合、教師が責任を持つというが、教師も被災者であり、東日本でもそれが問題だった。また移転した場合、自分らの全然知らん人の中に子供が置かれる状況を考えられるか。自分の子どもが全然知らん他人の中に囲まれている。東日本で子どもらがどうなったかわかっているか。	○それは学校の先生が責任をもって見ます。
30	○学校の先生が亡くなった場合はどうするのか。学校は地域の方の避難場所にもなっており、その場合、子ども達だけでなく、避難してきた住民の方たちとごっちゃになる。そういう時に先生が子供たちの面倒を見れますか。	○先生がみるしかない。学校現場では。
31	○どれだけ現場に負担をかけるのか。	○学校にいるときに災害が起きたら学校の先生が子どもの命を守らなどうするがですか。
32	○ここにおったら、地域の人が何とかできる。全然知らん人が面倒見れるかという話。	○私たちは室戸の中学生にとってどういう教育環境を作るのがいいかという方向性を出している。災害が起きたときには全然知らん人の中で、過ごさないけないこともある。ああいう災害時には。
33	○それを決めているあんたら腹を切ってもらうで。もしそういうのがあったら俺は絶対許さない。東日本の子ども達がどういう目にあったかもう１回考えや。	○災害時に安全確保のためにどういうことをするのかは学校が決めていかないかん。それを決めていきます。
34	○学校の先生も人間だ。家庭も持っている。わかっていますか。	○仕事やないですか。先生にしたら。
35	○自分がそこの場に行って自分が知らない子供を見れますか。	○災害時は非常時なんです。準備とかもできていない中でそこで先生なり大人がみているということになる。先生がおらんかったらというけど、学校のある間は先生はおります。
36	○先生が被災されたらどうされますか。学校は安全とは限らない。ガラスが割れて子どもたち、教師がケガを負ってる状態で、それでも教師に面倒見ろと言いますか。	○災害を受けて先生がケガをしている、誰が見てくれるんですかという話だが、その状況に応じて世話のできる人がする。助け合うということしかないと思う。これは学校だけではなく、いろんな場面で助け合っていくのは出てくる。
37	○それはわかるが、室戸市内に行った時に吉良川の人は周りの人ほぼ知らない状態。発達障害の子はパニックを起こしてどこで安心できますか。先生はまだ信用できない状態かもしれない。だから地元に残してもらいたいというのが保護者の考え。香南市から吉良川に戻ってきたが、香南市の方が生徒も多いが、荒れていた。人数が多くなるといって、全部がそうなるわけではないが、荒れる場合もある。	○荒れる場合がないとは言えないが、そんなことがないように取り組んでいくことが大事だと思う。
38	○室戸小学校、室戸中学校が今そういう状態がある。そういう現状はお分かりか。	○内容については、支援センターとの連絡会などでの情報共有はしているが、大規模校、小規模校というのではなく、小規模校の中でもそういった話は聞く。今の室小室中は荒れているので、統合問題は考えられないという方には向かないと思う。まず、室戸市の中学生にとって良い環境を作るというところで考えている。
39	○吉良川の保護者の方には、室戸中学校１つになるのであれば、よそに行きますそういう意見もたくさんある。残される子がかわいそうだという声を多く聞いている。それが子どもの声です。子どもがどう思っているのかきちんと聞いてほしい。	○また、協議の場を持ちましょう。次には保護者の方と協議を持ちたい。こちらも保護者の考えを聞きたい。本当に少人数になってもその地域へ残す形が良いのか、一定の規模で学ばせたいという保護者もおられると思いますので。
40	○アンケートは子どもたちに配っているのか。	○子ども達へのアンケートは取っていない。こうした問題は様々な観点から考えていく必要があり、大人の責任であると考えている。

No.	発言内容	回答内容
41	○アンケートの仕方がおかしい。統廃合ありきで。	○選択肢があって、存続させるという回答もあるので、統合ありきで始めたものでないと考えている。令和２年に立ち上げた検討委員会の中でまず保護者に聞いてみたらどうかということで、統合に誘導するような内容にはなっていないと考えている。
42	○統廃合前提やったら、協議をしても意味がない。平行線や。	○ここで出された意見は大事にしなければならないと考えている。ここで出された意見が統廃合で課題になっていることで、そういった課題を今後どういう風に対応していくかということで、ここで出された意見は大事にしていきます。
43	○教育行政の法律では、先生に任しっきりではなく保護者地域の人が学校運営に参加するというところがある。子どもが大変な時に親御さんが支えてくれて世話してくれるのが当然ことでそれができないようになってしまうんじゃないかというのを言っている。	○ご意見としてお受けします。